

2024年8月31日  
ラベルフォーラムジャパン実行委員会

報道各位

5年振りに帰ってきた国内最大級“シール・ラベルの祭典”  
聴講無料の6セッションが正式決定!  
**ラベルフォーラムジャパン 2024**  
**「ミニセミナー」登録開始**

ラベルフォーラムジャパン実行委員会(ラベル新聞社内)が10月23日(水)から25日(金)までの3日間、江東区有明の東京ビッグサイト西展示場で開催する「ラベルフォーラムジャパン 2024」では、3日間6セッションで構成する聴講無料の「ミニセミナー」を企画。このほど全講演内容が確定し、登録を開始しました。

2019年以来5年振りに開催する産業展は、開催テーマ『持続可能なラベルの未来を拓く』のもと、ミニセミナーのほか103社188小間で執り行う「展示会」、国内外のシール・ラベル製品を一挙集めたショーケース「ラベルパビリオン」を企画。脱炭素社会の実現に再生可能エネルギーの普及、循環型社会と循環経済の両立を社会や産業全体で実現していく今、印刷産業の“これから”とシール・ラベルの未来を拓くためのロールモデルやアイデアをミニセミナーから発信いたします。

■開催概要

名称:ラベルフォーラムジャパン 2024 / Label Forum Japan 2024

日時:2024年10月23日(水)~25日(金) 10:00~18:00(最終日のみ17:00まで)

場所:東京ビッグサイト 西展示棟3ホール

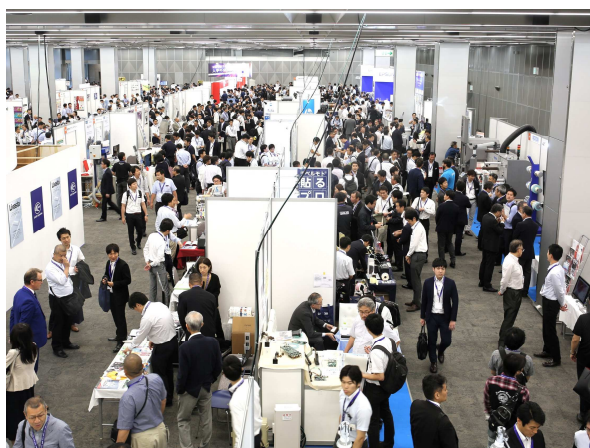
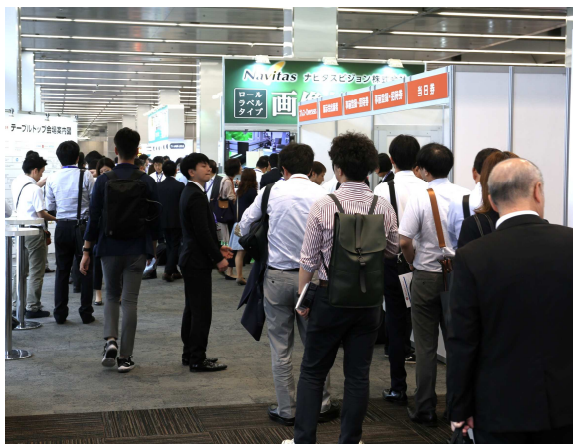
テーマ:「持続可能なラベルの未来を拓く」

主催:ラベルフォーラムジャパン実行委員会(ラベル新聞社内)

出展社:103社・188小間/展示面積4,680㎡

入場料:2,000円(税込)、ただし事前登録で無料

URL: <https://lfj2024.jp/> 「ミニセミナー」ほか来場登録はこちらから



※写真は前回東京ドームシティプリズムホールで開催したラベルフォーラムジャパン 2019のようす

## ■ラベルフォーラムジャパンとは

シール・ラベル印刷に特化した「ラベルフォーラムジャパン」は、2008年にTOC有明で初回を開催。開催規模の大きな商業印刷の総合展とは一線を画す、ニッチで小さな特殊印刷の専門展ですが、前回2019年までに6回の開催を数えます。海外からの出展企業や来場者も集めて来場者は常に右肩上がり。規模を拡大し初の東京ビッグサイト開催を迎えた、国内最大級の専門展となります。

来場の対象は印刷・包装関連会社と付帯するメーカーらの“作り手”側と、デザイン企画会社にブランドオーナー、ラベルユーザーほか自治体、学生などの“使い手”側を広く想定しています。

## ■ミニセミナー

10月23日(水)	10月24日(木)	10月25日(金)
10:30~11:15	11:00~12:00	11:00~12:00
オープニングセッション「持続可能なラベルの未来を拓く」 “捨てるをすてる”未来とラベルのミライ~LoopとJFLPのトップ対談~	印刷機ディスカッション【フレキシソの部】 ラベル製造の課題克服に貢献するフレキシソ印刷の魅力	機能性ラベル最前線【展示会出展ラベルコンバーターによるディスカッション】 ラベルと印刷会社の役割を見直すお役立ちTIPS
田中祐氏(全日本シール印刷協同組合連合会)、エリック・カワバタ氏(テラサイクルジャパン合同会社)、アンディー・トーマス氏(Labels&Labeling)	津田邦夫氏(株)タカラ、窪田祐一氏(株)サニー・シーリング)、三森暢久氏(有)三森特殊印刷社)	大阪シーリング印刷(株) 株)東洋レーベル 株)友功社
14:00~15:00	14:00~15:00	14:00~15:00
ラベル業界の循環システム最前線【剥離紙循環団体などによるディスカッション】 超・資源循環主義!~印刷業界の循環経済実装はラベルから?~	印刷機ディスカッション【デジタルの部】 印刷会社が語るデジタル活用事例と将来性	ラベルを含む2次包装材料の印刷を対象とした特色からCMYKへの切り替え ~持続可能な未来を切り拓く!製薬会社の環境貢献プロジェクト~
高島哲也氏((一社)ラベル循環協会)、本池高大氏(資源循環プロジェクト)、久下裕之氏(東洋インキ(株))	(株)シール堂印刷 高桑美術印刷(株)	野々村浩二氏(武田薬品工業(株))

個人・団体敬称略

## ◇アウトライン

会場：西展示棟3ホール 展示会場内特設スペース(約100席)

参加費：無料

申込み：公式サイト(<https://miceform.jp/labelforum2024/form/>)から

特記：・事前登録制で、各セッション先着100名まで

- ・登録は1セッション限定となり、複数の聴講はできません
- ・席数の上限に達し次第登録終了となります
- ・ご参加いただけなかった方へ後日アーカイブ配信を予定しています
- ・内容など予告なく変更する可能性があります

◇内容紹介

**2024年10月23日(水)**

・10:30~11:15

**オープニングセッション「持続可能なラベルの未来を拓く」**

**“捨てるをすてる”未来とラベルのミライ~LoopとJFLPのトップ対談~**

◇内容

容器を回収・洗浄し再利用するサステナブルなショッピングプラットフォームを世界展開する「Loop」の日本法人代表と、全日本シール印刷協同組合連合会会長のトップ対談が実現。包装とラベルの良好な未来を共創します。オブザーバーは英インフォーマ・マーケットツ刊「Labels&Labeling」の元編集長。

◇登壇者

田中祐氏(全日本シール印刷協同組合連合会)、アンディー・トーマス氏(Labels&Labeling)、エリック・カワバタ氏(テラサイクルジャパン合同会社)、ラベル新聞社

・14:00~15:00

**「ラベル業界の循環システム最前線」【剥離紙循環団体などによるディスカッション】**

**超・資源循環主義!~印刷業界の循環経済実装はラベルから?~**

◇内容

剥離フィルムの水平リサイクルを推進する資源循環プロジェクトと、剥離紙の再資源化実現を目指す J-ECOL の両代表者が登壇。さらに脱墨技術を応用してプラスチックのリサイクルを実現した東洋インキも加わり、ラベルを構成する基材×剥離紙×剥離フィルムと“全部盛り”で資源循環の最前線を協議します。

◇登壇者

高島哲也氏(一社)ラベル循環協会、本池高大氏(資源循環プロジェクト)、久下裕之氏(東洋インキ株)

**2024年10月24日(木)**

・11:00~12:00

**印刷機ディスカッション【フレキシの部】**

**ラベル製造の課題克服に貢献するフレキシ印刷の魅力**

◇内容

ラベルの製造でフレキシ印刷に取り組む企業 3 社が、それぞれの仕事内容やユーザーニーズなどに基づき意見交換。フレキシ印刷機を設備した理由や導入のメリット、技術承継や人手不足、生産効率といった課題克服への可能性を探ります。

◇登壇者

津田邦夫氏(株式会社タカラ)、窪田祐一氏(株式会社サニー・シーリング)、三森暢久氏(有限会社三森特殊印刷社)

・14:00~15:00

**印刷機ディスカッション【デジタルの部】**

**印刷会社が語るデジタル活用事例と将来性**

◇内容

デジタル印刷機のユーザー企業 2 社による対談を行い、機器と市場の将来性を分析。「デジタル印刷機は安売り合戦の道具ではない」「ラベルユーザーが得られる恩恵とは」など、独自技術・製品を持つ登壇者に赤裸々に語っていただきます。

◇登壇者

(株)シール堂印刷、高桑美術印刷(株)

2024年10月25日(金)

・11:00~12:00

**機能性ラベル最前線【展示会出展ラベルコンバーターによるディスカッション】**  
**ラベルと印刷会社の役割を見直すお役立ち TIPS**

◇内容

展示会出展者によるディスカッションを通じて、ラベルの持つ多彩な機能性を明らかにします。活用シーンにあわせた耐久性、環境生、利便性などの特徴を解説。商品開発の上流工程に関する相談窓口にもなり得る印刷会社の役割と、日々進化するラベルの価値を再考する機会です。

◇登壇者

大阪シーリング印刷(株)、(株)東洋レーベル、(株)友功社

・14:00~15:00

**ラベルを含む2次包装材料の印刷を対象とした特色からCMYKへの切り替え**  
**~持続可能な未来を切り拓く!製薬会社の環境貢献プロジェクト~**

◇内容

医薬品メーカーの武田薬品工業は、環境負荷低減を目的に医薬品のラベルを含む二次包装材料に関して、特色からCMYKのプロセスインキによる印刷への切り替えを推進。メーカーと印刷会社の双方におけるメリットや今後の展開などを解説します。

◇登壇者

野々村浩二氏(武田薬品工業株式会社 サプライチェーンマネジメント部)



■ イベントの詳細、問い合わせ先は

現在、ラベルフォーラムジャパンの総合 HP (<https://lfj2024.jp/>) で関連情報を発信しています。同ページで来場登録とミニセミナーの申し込みが行えます。

ラベルフォーラムジャパン 2024 実行委員会  
(ラベル新聞社内)

東京都千代田区東神田 3-1-13 4F

TEL:03-3866-6577

Mail:info@labelforum.jp

広報担当・上田もしくは姜(カン)まで

以上